

# 事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	農林課(林務・自然保護担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	ラムサール条約登録湿地10周年記念事業	事業番号	12525

## 1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	4-3	自然資源の賢明な利用促進
	施策目標	人と自然が共生しその恵みを次世代へ引き継ぐまち	

## 2 事務事業の目的

目的	平成17年11月8日「風蓮湖・春国岱」ラムサール条約登録の湿地の指定の日から10周年の記念事業を実施する。
成果	自然の果たす役割、そこから受ける恩恵、共生していく重要性を見つめ直し、より一層の自然環境の保全と条約の基本原則である「ワイズユース(賢明な利用)」の推進を図る。
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input checked="" type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

## 3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	①ラムサール条約登録湿地10周年記念講演 ②春国岱ハマナス群落再生プロジェクト など(事業完了)						
	28							
	29							
	30							
	31							
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		1,800					1,800
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他	900					900
		一般財源	900					900
	人員(人工)		0.25					
職員費(人員×8,081千円)		2,020					2,020	
総事業費		3,820					3,820	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

#### 4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	自然環境の保護・保全活動	10回	10回	10回

事務事業改善策  
(継続事業のみ記入)

#### 5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	幅広い世代の市民が参加することにより、ラムサール条約への理解と関心が高まる。
-------------------	--

#### 6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない ラムサール条約への理解と関心が高めるため、市民保護団体等などのニーズはある。
イ. 市が実施する必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 根室市を含む実行委員会で実施。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はない 「風蓮湖・春国岱」ラムサール条約登録の湿地の指定の日(平成17年11月8日)から10周年の記念事業のため。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 市及び関係団体を構成員とする実行委員会で実施のため妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 市及び関係団体を構成員とする実行委員会で実施のため妥当である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 自然の果たす役割の重要性を見つめ直す機会としてより一層の自然環境の保全と条約の基本原則である「ワイズユース(賢明な利用)」の推進を図る。

#### 7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<b>【計画どおり実施】</b> 事業終了したが、引き続き自然資源の賢明な利用促進に努められたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 関係機関と連携し、より一層の自然資源の賢明な利用推進を図る。

作成年度 平成27年度